Hack For Japan

あなたのスキルは社会に役立つ

2011年3月11日の東日本大震災発生の直後にHack For Japanは発足しました。 今後発生しうる災害に対して過去の経験を活かすためにも、エンジニアがつながり 続けるためのコミュニティとして継続しています。防災や減災、被災地の活性化や人 材育成など、「エンジニアができる社会貢献」をテーマにした記事をお届けします。

第69回

高齢者ならではの視点が開発の幅を広げる シニアプログラミングネットワーク企画

● Hack For Japan スタッフ 小泉 勝志郎 (こいずみ かつしろう) witter @koi zoom1

はじめに

while (Japan.recovering we.hack();

みなさんAppleの開発者の祭典「WWDC 2017」の キーノートはご覧になったでしょうか? iOSや Macの新機能が多く紹介されましたが、WWDC 2017の冒頭で、ある日本人が大きく紹介されたの です。その方の名は若宮正子さん。2017年2月当時 81歳でiOSアプリ「hinadan」をリリースした最高齢

▼ 写真1 シニアプログラミングネットワークのチラシ

史上最高齢の下イベントが開催

なんと活躍しているお年寄りプログラマーが大集合! 年寄りがプログラミングを学ぶこと、年寄りに使いやすいとはどんなことなのかを考えるイベントです!

登壇者紹介(敬称略)



若宮正子

81歳にして「お年寄りが若者に勝てるゲーム」を作るためにiPhoneアプリ「hinadan」を作成したリアルコンピュータおばあちゃん!



鈴木富司

若宮さんと同じく81歳にして既にPhoneアプリを3本もリリース!オール英語のサイトまで作成しているスーパーシニア!



谷川一夫

マタギとして有害鳥獣駆除も手がける中、Ichigo Jamを使ったセンサー付きオリを自作し、年間90頭 ものイノシシを狩る猛者!

登宣者平均平齡77歲| 4/29(积-土) 14:00~17:00 法含dots

主催:一般社団法人コード・フォー・ジャパン/シニアプログラミングネットワーク 場所:東京都渋谷区宇田川町20-17 NMF渋谷公園通りビル 8F 連絡先: koizoom1@gmail.com

お申し込みはこちらから https://eventdots.jp/event/617957



開発者としての紹介でした。実は筆者は若宮さんの アプリに、企画開始からリリースに至るまで関わっ ているのです。

そして、このWWDCの直前に筆者が企画して開催したイベントが、2017年4月29日に開催した「シニアプログラミングネットワーク #1」。今回の記事ではその模様をお知らせします。

史上最高齢のITイベント開催!

Twitterで筆者が配ったあるチラシが2万を超えるリツイート数となっていました。「いちばんやばいチラシ」としてTweetされたそれはどんなものなのかというと「登壇者平均年齢77歳! 史上最高齢のITイベント」というものでした(**写真1**)。そう、今回の記事で扱うシニアプログラミングネットワークのチラシだったのです!

.....



|イベントスタート!

シニアプログラミングネットワークは渋谷にあるdots. (現在は名称変更してTECH PLAY) で開催しました。ネットで話題になったおかげかすぐに満員御礼となり、増席をしたほど。

集まったのは100人ほど(スタッフ、登壇者、メディア含む。一般来場受付81人)。アンケート結果を見ると年齢層は10代から80代まで幅広くいます。一番多いのは40代ですが、あまり山がはっきり出ず満遍なくさまざまな世代が来ているという、ある意味イベントには珍しい客構成です。40代が多いのも

高齢者ならではの視点が開発の幅を広げる シニアプログラミングネットワーク企画

単に40代は人口が多いからかもしれません。今回話題となるのがシニアのため、シニアが多く来るのは想像できましたが、Twitterで2万リツイート越えをするほど話題になったため、若い人も多く来たと思われます。登壇者の親類の方で80代の方も!

若宮正子さん while (Japan.recovering) We.hack();

若宮さんと、しかけ人でもある筆者のペアで登壇 しました(**写真2**)。この項目だけ自分のこともある ので主観も入ることをご容赦ください。

大きく話題となった「hinadan」、お年寄りが若者に勝てるゲームというコンセプトがすごくよかったと思います。6年ほど前に筆者が若宮さんと初めて話をしたときに、若宮さんが筆者に言ったのは「年寄りが若者に勝てるゲームを作ってください。若い人との交流でゲームをすることがあるけど、必ず負けるのがおもしろくない!」というものだったのです。言われてみれば確かにそうだよなとすごく印象に残っていたため、それ以降も会うたびに「年寄りが若者に勝てるゲーム」の話をしていて、2016年2月14日にほかのお年寄りの方も交えて「どういうゲームならお年寄りが若者に勝てるのか?」というブレインストーミングを仙台で行いました。この中で生まれたアイデアが「雛人形を雛壇に飾るゲーム」だったのです。

この段階ではまだ筆者に作ってくれという話だったのですが、「私が作ったところで話題にならないけど、若宮さんが作ったら超話題になりますよ」と伝えて若宮さんが作ることになりました。このようにアプリの開発以前での過程、とくにアイデア出しから関わっているのもあって、宮城県塩竈市在住の筆者が神奈川県藤沢市在住の若宮さんを教えたというわけです。

「ひな祭りには絶対にリリースしたい」という若宮 さんからの強い要望もあり、なおかつSkypeなど を利用した遠隔の教育でどうやって間に合わせるの か? そして、筆者が手伝って作っちゃったら話題 性を低くしてしまうので、完全に本人が理解して実 装できるようにすること。それもまったくのプログ

▼写真2 若宮正子さん



ラム初心者が半年で! ここで筆者が取った方法は次のものです。

●余計なことをいっさい教えない

カメラや地図、そしてTableViewも教えていません。それどころか配列すら教えるのをやめています。必要ないものは当然のこと、「若宮さん自身が理解して期日までに実装できる」という範囲に収めるためです。ソースをきれいにもしていません。本誌は技術者が多いので異論は多そうですが(笑)。

● ひな祭りに間に合わせるために、機能をどんどん あきらめる

これも期日に間に合わせるため。勝敗を決めるためのタイマー機能、何度も遊べるようにするためのシャッフル機能もあきらめています。

今回のやりとりはすべて録音してあるので、実際に若宮さんが作ったという証拠もきちんと残っています! リリース間際からは遠方から来てもらったり、筆者が行ったりの対面指導を頻繁に行い、なんとかリリースできました。

そして、完成した「hinadan」で若宮さんは一躍時の人に! テレビや雑誌にも出るし、韓国で講演したりと大活躍。その後の活躍は本人から語っていただきました!

鈴木富司さん we.hack();

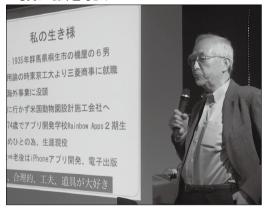
WWDC 2017で若宮さんは「最高齢開発者」として紹介されました。鈴木富司さんは若宮さんの10

あなたのスキルは社会に役立つ

日後の誕生日で、なおかつすでに5本もアプリをリリースされています(写真3)。若宮さんがリリースするまではおそらく長きに渡り最高齢のiPhoneアプリ開発者だったのではないでしょうか?

その鈴木富司さんが作ったアプリは「スマホの勉強」シリーズという「お年寄りがiPhoneの使い方を勉強するためのアプリ」。設定のところではどういったことができるのかなどを動画を交えてアプリから見ることができます。動画のナレーションは鈴木さんご本人が吹き込んでいて、ダンディな音声も楽しめます(笑)。おもしろいのが「応援者の頁」です。お年寄りだけでは難しいところを周りの人が支援してあげるために、「ここに来たら周りの人に聞け!」というのをまとめてあり、お年寄りの周囲の人もどこで詰まったのかがわかりやすくなっているのです。

▼写真3 鈴木富司さん



▼写真4 谷川一男さん



鈴木さんいわく「そんなに工数かけるな!」と言われないのがシニアプログラミングのメリットとのこと。今後も「スマホの勉強」シリーズを展開していくそうです。

谷川一男さん while (Japan.recovering.

メディアでは若宮さんがWWDCに出たのもあってこちらの報道が多いですが、実はTwitter上で一番人気だったのはこの谷川一男さん(写真4)。なんとIchigoJamを利用したセンサー式の檻を利用することで、以前もの何倍もイノシシを狩猟したというその武勇伝が「ITマタギ、マジか?」と大きく話題になっていたのでした。

猪は警戒心が強く、従来の檻罠では成猪の警戒を招くので捕獲が困難。センサーで作動する罠なら猪に警戒されにくい。しかし超音波センサーは聞こえる可能性があるので赤外線を採用したとのこと。そして得た成果。平泉寺地区の捕獲状況を見ると平成27年度は17頭、そして平成28年度にはそれがなんと93頭へ! そしてIchigoJam全ソースコードも公開されました。なんとたったの9行!

次バージョンの構想もあり、さくらのIoTと Microsoft Azureを使い、罠が作動したら携帯に通知 が来るということを進めているそうです(写真5)。

▼写真5 現在開発中の檻



高齢者ならではの視点が開発の幅を広げる シニアプログラミングネットワーク企画

懇親会

while (Japan.recovering.

なんとイベント当日は鈴木富司さんの82歳の誕生日! その10日前に誕生日を迎えた若宮さんと一緒に懇親会ではケーキで誕生日を祝いました! (写真6)

シニアプログラミングネット ワークをはじめた理由

なぜシニアプログラミングネットワークを立ち上げたのか?というと、「プログラミングをするシニアが増えることで、シニアの知見をより社会に反映していきたい」という思いからです。

たとえば、筆者が若宮さんのhinadan開発に関わる中で「お年寄りは指が震えるからドラッグ&ドロップが苦手」などの知見を得ることができています。シニアがプログラミングをしていくことで、こういった知見がより社会に出て行く。お年寄りが使いやすいものはお年寄りが知ってるんですよね。また、絵や音楽に比べると才能の割合が小さいので、いろいろな方が新しく出てくるのではないかと思っています。そのためには、シニアがプログラミングをよりやりやすくする環境を作っていきたいという思いです。また、プログラミングを楽しんでいるシニアが互助できるようにすることで、より長くプログラミングを楽しんでもらいたいという意図もあります。

そして、現在若宮正子さんのことが各メディアに 報道され、筆者もオマケで出てたりはしますが、これは一過性の現象だと思っています。これを一過性 にせず「シニアプログラミング」というジャンルを作 り出したく「シニアになってからプログラムを始め たけどすごい成果を出している人たち」を集めての イベントにしました。



今後の展開

シニアハッカソンというイベントを行おうと思っています。「お年寄りが自分が作りたいアプリのアイデアを生み出し、その実現を技術者がフォローす

▼写真6 鈴木さんと若宮さんの誕生日ケーキ



る」ということを実現するためのイベントです。

今回若宮さんが短期間でhinadanを完成させることができたのは「ゴールから逆算して余計なことをいっさい教えない」という方針がうまくいったのも大きな要因だと思っています。若宮さんはプログラミングのスキルは完全に初心者レベルですが、hibadanを作るのには必要最低限のことは学んだため、ちゃんと自分で作ったものが世に出たわけです。この「作りたいというゴールから逆算してサポートする」というしくみを人為的にイベントの中で作り出したいと考えています。

最後に

while (Japan.recovering)

若宮さんの件が多く報道されたため、プログラミングに興味を持つ人は増えて来ている印象です。この興味を持った方達の後押しや支援を、シニアプログラミングネットワークで行えればと思います。シニアプログラミングネットワークでは高齢者向けプログラミングのイベントの実施などを行うスタッフを募集しています。希望者の方はシニアプログラミングネットワークのFacebookページに「スタッフ希望」と書いてご連絡ください! TECH PLAYの部活動にもなっているので定期的にイベント開催が可能です。「もくもく会」のようなイベントも行いたいのですが、筆者は東北在住のため、ぜひ首都圏の方にご協力いただけるとありがたいです! お待ちしています! 50